



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月6日

上場会社名 ヌシロ化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5013 URL <https://www.yushiro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有坂 昌規

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部 財務部長 (氏名) 横井 宏紀

TEL 03-3750-6793

四半期報告書提出予定日 2023年11月7日

配当支払開始予定日

2023年12月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	25,495	17.1	1,771	384.1	2,401	298.3	1,805	
2023年3月期第2四半期	21,770	20.0	366	49.2	602	43.3	104	86.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,761百万円 (21.3%) 2023年3月期第2四半期 3,925百万円 (63.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	132.67	
2023年3月期第2四半期	7.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	61,080	41,558	64.0	2,872.39
2023年3月期	56,283	36,984	61.6	2,545.72

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 39,092百万円 2023年3月期 34,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		10.00		10.00	20.00
2024年3月期		20.00			
2024年3月期(予想)				35.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,800	10.7	2,890	175.3	3,680	155.1	2,480	175.9	182.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	13,900,065 株	2023年3月期	13,900,065 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	290,417 株	2023年3月期	290,362 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	13,609,680 株	2023年3月期2Q	13,609,703 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算説明資料は、2023年11月6日(月)に当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化などの地政学リスクの高まり、欧米におけるインフレの長期化や金融引き締め政策の継続、中国景気の減速等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。また日本経済においても、コロナ禍からの経済活動の正常化が進んでいますが、円安の長期化、エネルギー価格や原材料価格の高止まりなど、引き続き景気の先行きを注視していく必要があります。

このような状況下、当社においては、中期経営計画『RECOVER PLUS』の最終年度として、収益性の改善を第一に各種施策に取り組んでおります。依然として原材料価格は高い水準にあります。また、主要顧客である自動車業界において、メーカーによって多少差はあるものの半導体等の部材不足の緩和に伴い減産の影響は徐々に縮小しており、回復基調が継続しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比17.1%増の25,495百万円、営業利益は前年同期比384.1%増の1,771百万円、経常利益は前年同期比298.3%増の2,401百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1,700百万円増の1,805百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

①セグメント別売上高

		前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		8,481	39.0	9,803	38.4	1,321	15.6
海外	南北アメリカ	7,932	36.4	9,882	38.8	1,949	24.6
	中国	2,735	12.6	2,667	10.5	△67	△2.5
	東南アジア/インド	2,621	12.0	3,141	12.3	520	19.9
	海外合計	13,288	61.0	15,692	61.6	2,403	18.1
日本+海外合計		21,770	100.0	25,495	100.0	3,724	17.1

②セグメント別営業利益又は損失(△)

		前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		△171	—	479	—	651	—
海外	南北アメリカ	430	—	1,235	—	804	186.8
	中国	162	—	△6	—	△168	—
	東南アジア/インド	168	—	284	—	115	68.7
	海外合計	761	—	1,513	—	751	98.8
日本+海外合計 (調整額除く)		589	100.0	1,992	100.0	1,403	238.0

③セグメント別概況

(日本)

半導体不足による自動車メーカーの減産の影響からの販売数量の本格的回復には至っていませんが、販売価格の改定の影響もあり増収となり、前年同期の営業赤字から大きく回復し営業黒字に転じました。

(南北アメリカ)

北米を中心に事業環境は良好であり、前期において顧客の稼働率低下の影響を受けていた拠点においても急速に回復が進んだことから、大幅な増収・増益となりました。

(中国)

景気減速の中、日系自動車メーカーの稼働率低迷により販売数量は伸びず減収となり、競争の激化による価格改定の困難性もあって、わずかではありますが営業赤字となりました。

(東南アジア/インド)

各拠点において顧客の稼働率は堅調に推移しており、一部の拠点において前期に実施できなかった顧客の販売価格の改定も進んだ結果、増収・増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、61,080百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,797百万円増加しました。主な要因は、「現金及び預金」が3,100百万円、「受取手形及び売掛金」が935百万円、「投資有価証券」が541百万円増加したことによります。

負債は、19,522百万円となり、前連結会計年度末に比べ223百万円増加しました。主な要因は、「長期借入金」が460百万円減少したものの、「繰延税金負債」が371百万円、「未払法人税等」が175百万円、流動負債の「その他」が100百万円増加したことによります。

純資産は、41,558百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,573百万円増加しました。主な要因は、「為替換算調整勘定」が2,213百万円変動、「利益剰余金」が1,641百万円、「その他有価証券評価差額金」が539百万円増加したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は10,013百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,685百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により2,411百万円の収入超過となりました。これは、売上債権の増加額491百万円、持分法による投資損益390百万円等がありましたが、税金等調整前四半期純利益2,426百万円、減価償却費509百万円、棚卸資産の減少額431百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により353百万円の収入超過となりました。これは、定期預金の預入による支出346百万円、有形固定資産の取得による支出268百万円等がありましたが、関係会社株式の売却による収入961百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により665百万円の支出超過となりました。これは、長期借入金の返済による支出485百万円、配当金の支払額136百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年8月4日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,028	11,128
受取手形及び売掛金	9,382	10,318
商品及び製品	2,521	2,497
原材料及び貯蔵品	4,626	4,700
その他	1,239	759
貸倒引当金	△25	△18
流動資産合計	25,773	29,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,882	4,024
機械装置及び運搬具（純額）	1,426	1,509
工具、器具及び備品（純額）	300	297
土地	5,168	5,197
リース資産（純額）	38	30
建設仮勘定	63	95
有形固定資産合計	10,879	11,153
無形固定資産		
のれん	1,949	2,007
顧客関連資産	1,994	2,109
技術資産	612	637
商標権	537	560
その他	404	583
無形固定資産合計	5,499	5,898
投資その他の資産		
投資有価証券	11,931	12,473
保険積立金	724	690
長期預金	15	2
退職給付に係る資産	412	412
繰延税金資産	101	115
その他	958	961
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	14,131	14,641
固定資産合計	30,509	31,694
資産合計	56,283	61,080

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,381	5,343
短期借入金	4,943	4,918
リース債務	98	110
未払金	854	895
未払法人税等	220	395
賞与引当金	367	422
役員賞与引当金	—	7
その他	1,485	1,585
流動負債合計	13,350	13,678
固定負債		
長期借入金	2,392	1,932
リース債務	138	136
繰延税金負債	1,900	2,272
役員退職慰労引当金	91	100
退職給付に係る負債	1,218	1,196
長期預り保証金	184	185
資産除去債務	20	20
固定負債合計	5,947	5,843
負債合計	19,298	19,522
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	3,931	3,931
利益剰余金	24,855	26,496
自己株式	△384	△384
株主資本合計	32,651	34,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,738	2,277
為替換算調整勘定	400	2,614
退職給付に係る調整累計額	△143	△92
その他の包括利益累計額合計	1,994	4,799
非支配株主持分	2,338	2,465
純資産合計	36,984	41,558
負債純資産合計	56,283	61,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	21,770	25,495
売上原価	16,420	18,424
売上総利益	5,350	7,070
販売費及び一般管理費	4,984	5,298
営業利益	366	1,771
営業外収益		
受取利息	31	39
受取配当金	61	61
為替差益	78	136
持分法による投資利益	101	390
その他	82	61
営業外収益合計	355	690
営業外費用		
支払利息	31	26
シンジケートローン手数料	63	—
その他	23	34
営業外費用合計	118	60
経常利益	602	2,401
特別利益		
関係会社株式売却益	—	24
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	3	24
特別損失		
関係会社出資金評価損	152	—
特別損失合計	152	—
税金等調整前四半期純利益	454	2,426
法人税等	257	596
四半期純利益	196	1,829
非支配株主に帰属する四半期純利益	92	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	104	1,805

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	196	1,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	538
為替換算調整勘定	3,232	2,019
退職給付に係る調整額	10	52
持分法適用会社に対する持分相当額	578	321
その他の包括利益合計	3,728	2,931
四半期包括利益	3,925	4,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,532	4,610
非支配株主に係る四半期包括利益	393	151

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	454	2,426
減価償却費	529	509
のれん償却額	104	115
持分法による投資損益 (△は益)	△101	△390
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7	50
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4	7
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△71	△18
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△93	8
受取利息及び受取配当金	△93	△101
支払利息	31	26
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,029	△491
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△679	431
仕入債務の増減額 (△は減少)	748	△296
その他	△100	361
小計	△298	2,629
利息及び配当金の受取額	126	138
利息の支払額	△33	△29
法人税等の支払額	△231	△326
営業活動によるキャッシュ・フロー	△436	2,411
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△346
定期預金の払戻による収入	10	32
投資有価証券の取得による支出	△4	△19
投資有価証券の売却による収入	12	—
関係会社出資金の払込による支出	△414	—
関係会社株式の売却による収入	—	961
有形固定資産の取得による支出	△203	△268
有形固定資産の売却による収入	4	28
無形固定資産の取得による支出	△23	△152
その他	△37	117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△666	353
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,236	△0
長期借入れによる収入	200	—
長期借入金の返済による支出	△495	△485
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△381	△136
リース債務の返済による支出	△17	△43
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△218	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	323	△665
現金及び現金同等物に係る換算差額	747	586
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△32	2,685
現金及び現金同等物の期首残高	6,691	7,327
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,659	10,013

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
金属加工油剤関連事業	7,617	7,932	2,735	2,621	20,906	—	20,906
ビルメンテナンス 関連事業	863	—	—	—	863	—	863
顧客との契約から 生じる収益	8,481	7,932	2,735	2,621	21,770	—	21,770
外部顧客への売上高	8,481	7,932	2,735	2,621	21,770	—	21,770
セグメント間の内部 売上高又は振替高	544	5	—	17	567	△567	—
計	9,026	7,938	2,735	2,638	22,338	△567	21,770
セグメント利益又は 損失(△)	△171	430	162	168	589	△223	366

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△223百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が△10百万円、クオリケムInc.買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△213百万円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
金属加工油剤関連事業	8,933	9,882	2,667	3,141	24,625	—	24,625
ビルメンテナンス 関連事業	870	—	—	—	870	—	870
顧客との契約から 生じる収益	9,803	9,882	2,667	3,141	25,495	—	25,495
外部顧客への売上高	9,803	9,882	2,667	3,141	25,495	—	25,495
セグメント間の内部 売上高又は振替高	620	—	—	40	660	△660	—
計	10,423	9,882	2,667	3,181	26,155	△660	25,495
セグメント利益又は 損失(△)	479	1,235	△6	284	1,992	△220	1,771

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△220百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が14百万円、クオリケムInc.買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△235百万円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。